

リニモ沿線の地域づくりに向けた最近の取組状況

愛知県資料

愛知県の取組状況等

1 ジブリパークの整備や開業に向けた沿線全体の盛り上げ、賑わいの創出

(1) ジブリパーク及び愛・地球博記念公園の整備

- ・ 愛知万博の理念を次世代へ継承するため、愛・地球博記念公園内にジブリパークを整備する。「青春の丘」「ジブリの大倉庫」「どんどこ森」の3エリアは2022年11月1日開園、「もののけの里」、「魔女の谷」の2エリアはその概ね1年後の開園を目指す。
- ・ ジブリパークの開園に伴う来園者の増加に対応するため、愛・地球博記念公園の玄関である北エントランスの整備を行っている。また、北エントランスの周辺にバスロータリーを整備しており、主要な交通拠点からのシャトルバスによるアクセスが可能となる。
- ・ 公園北口に案内所、休憩所、飲食及び物販などの機能を備えた総合案内センター（仮称）を整備している。
- ・ 愛・地球博記念公園内の案内所においてデジタルサイネージを設置し、多言語表記を実施する予定である。

(2) 愛知県の魅力を PR するための「ジブリパークのある愛知」ロゴマークを作成

ジブリパークを愛知県全体で盛り上げるとともに、ジブリパーク開園を契機として愛知県の魅力を県内外にさらに広く PR するため、株式会社スタジオジブリの全面的な協力により「ジブリパークのある愛知」ロゴマークを作成した。

●ロゴマーク（横）



© Studio Ghibli

●ロゴマーク（横）



© Studio Ghibli

(3) リニモ藤が丘駅デジタルサイネージで放映する沿線施設紹介動画の制作

【内容】

ジブリパーク開園に向け、映像表現など大学の知見を活かした沿線施設紹介動画を制作

【対応言語】

日本語、英語、ハングル、中文（簡体）、中文（繁体）、ポルトガル語

【制作主体】

愛知県公立大学法人（愛知県立大学・愛知県立芸術大学）

(4) リニモ沿線地域の広域観光モデルルート of 作成

【内容】

ジブリパークを拠点に、愛知県内のさまざまなジャンルの観光が楽しめる10個のルート。

【制作主体】

東部丘陵線連絡協議会

2 主要な沿線施設における取り組み

(1) 「知の拠点あいち」

こども科学教室の開催、知の拠点あいちサイエンスフェスタ 2022（3月実施予定）、施設見学の受け入れなどを実施

(2) 「愛知県農業総合試験場」

農業総合試験場及び県内農業の理解を深めるため、農業総合試験場において公開デーを実施。（今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで実施）

(3) 「愛・地球博記念公園」

愛知万博理念継承事業として「モリコロパーク春・秋まつり」を開催するほか、ご当地グルメなどの各種イベントの開催支援を実施。

(4) 「もりの学舎（愛・地球博記念公園内）」

工作教室や自然体感プログラム（森の中を歩くツアー）などを実施。

(5) 「あいちサトラボ（愛・地球博記念公園内）」

園内で田畑や果樹園などの農業体験ができる里山実験フィールドである「農のエリア」において、来園者が参加する体験プログラムの実施。

(6) 「愛知県児童総合センター（愛・地球博記念公園内）」

センター内にリニモコーナーの設置、リニモたんけん隊（リニモ乗車体験及びリニモ車両基地の見学）を実施。（令和3年度は新型コロナ感染拡大のため中止）

(7) 「愛知県陶磁美術館」

特別展・企画展・常設展等の開催や、リニモ利用者に対する観覧料割引サービスの実施。

(8) 「海上の森」

海上の森自然環境保全地域等において、企業や大学、保全活動団体との協働による保全活動などを実施

(9) 「あいち海上の森センター」

海上の森の保全・活用のため、NPO法人海上の森の会による体験学習プログラムや自然観察会、企業連携プロジェクトによる森林整備や森林体験活動を実施。

身近な森林・里山林の保全や管理、活用に関する知識と技能を習得するための技術者養成講座である海上の森アカデミーを実施。

- ◎ 上記イベント・施設等の一体的な広報を行うため、沿線施設を紹介する「リニモ沿線マップ」や沿線で開催されるイベント等を紹介する「リニモ沿線イベントガイド」の作成及び配布、「リニモメールマガジン」や「東部丘陵線連絡協議会公式 Twitter」での発信などの情報提供を行っている。

3 ICT等を活用したスマートシティの実現

(1) MaaSの導入に向けた取組の推進（マルチモーダルサービス導入実証事業）

【目的】

ジブリパークの開園により多くの来訪者が想定されるリニモ沿線を含む名古屋東部丘陵地域を対象に、MaaSの先導的な導入を目指し、必要なサービスやサービス提供事業者の採算性を確保する方策を検討するため、実証実験を実施する。

【内容】

期間：2021年12月1日～2022年1月31日

使用アプリ：my route（開発・提供：トヨタファイナンシャルサービス株式会社）

主な提供サービス：・マルチモーダルルート検索

- ・パークアンドライドの経路提案（12月4日（土）名古屋グランパス戦の観戦者を対象に、トヨタ自動車駐車場と愛知環状鉄道を利用する経路を提案）
- ・リニモ駅構内混雑案内（藤が丘駅、愛・地球博記念公園駅、八草駅のリアルタイム情報を提供）
- ・アプリ内予約・決済
- ・愛知環状鉄道1dayパスの決済（経路検索結果から購入でき、デジタルチケットとして利用可能）
- ・シェアサイクルの予約・決済（経路検索結果から「カリテコバイク」の予約及び決済可能）
- ・アプリ内のデジタルクーポンを提示することによる特典付与（リニモ・愛知環状鉄道沿線の観光・商業施設が対象）

(2) 自動運転社会実装プロジェクト推進事業

【目的】

リニモの駅から愛・地球博記念公園内目的地までを自動運転車でつなぐことでシームレスな移動の実現を目指し、実証実験を実施する。

【実施日程】

2022年2月10日（木）から2月13日（日）まで

【実証テーマ】

リニモの駅から園内目的地へのシームレスな移動

【実証ルート】

- ・リニモ公園西駅から公園西口駐車場
- ・西エントランス広場～愛知県児童総合センター方面（公園内）

【特徴】

リニモ公園西駅から園内の目的地へ複数台の自動運転車を利用したスムーズな送客運行管制システムにより、利用需要に応じて複数の走行ルート、運行ダイヤ、配車台数を自動設定し運行

4 イベントの実施（令和3年度）

（1）リニモ沿線ウォーキング（沿線市共同事業） 【通年（4～5月、10～12月、3月）】

沿線地域の自然や名所、観光施設等の魅力に触れてもらうリニモ沿線ウォーキングを2シーズン（春・秋）に開催。（計画では年間11回開催であったが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により7回開催となる予定。）

（2）わくわく体験リニモツアーズ2021（沿線市共同事業） 【夏休み期間（7月～8月）】

夏休み期間中、小学生と保護者を対象に、リニモ沿線の様々な施設での体験講座等を実施し、社会学習等の機会を提供。（計画では22講座の実施予定であったが、今年度は8回の開催となった。中止分について、わくわく体験リニモツアーズ2022冬として8回実施予定であったが、全て中止となった。）

（3）ひつじのショーンと巡るリニモスタンプラリーの実施【10月～1月】

リニモ駅やリニモ沿線の文化・芸術・観光施設、広域（リニモ駅から公共交通機関を使用して訪問出来る場所）施設を周遊スポットとしたデジタルスタンプラリーを実施。

（4）リニモ車両基地見学会の開催【通年】（主催：愛知高速交通株式会社）

小学校、中学校、高校、大学に対しリニモ車両基地見学会を実施。

（5）全日本うまいものまつり【4月29日～5月9日 計11日間】

（主催：全日本うまいもの祭り実行委員会（中日新聞社、東海テレビ放送、ゲイン、FOOD&DRINK BANK） 共催：愛知高速交通株式会社）

愛・地球博記念公園の大芝生広場にて、毎年10万人を超える来場者が訪れ、大いに賑わう大人気フードフェス「全日本うまいものまつり」が開催された。リニモの利用を促すため、「リニモ1DAY フリーきっぷ（大人800円、子ども400円）」を購入すると、もれなく入場券（当日大人1日券700円、小学生1日券300円）がついてくる取組を実施。

◆沿線の大学生の取組について

○リニモ沿線おさんぽマップの作成（制作主体：ALEQ（アレク））

愛知県立大、愛知県立芸術大の学生で構成された団体「ALEQ（アレク）」が、リニモ沿線の駅を中心とした徒歩圏内の歴史やお店を紹介するマップを作成している。

枅ヶ池公園、長久手古戦場、はなみずき通り、芸大通・公園西の4つのエリアを対象とし、日本語版だけでなく英語版も作成予定で、中国語版の作成も検討している。（本事業は長久手市の令和3年度協働まちづくり活動補助金交付対象）